

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	2007年1月から2022年12月の間、初発胃がんに対して術前補助化学療法(NAC)後に、当院にて胃がんの手術を受けた患者さん			
② 研究課題名	術前補助化学療法後RO切除が可能であった進行胃がんに対する術後補助化学療法の有用性			
③ 実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2026年3月			
④ 実施機関	静岡がんセンター			
⑤ 研究代表者	氏名	大野優紀	所属	胃外科
⑥ 当院の研究代表者	氏名	大野優紀	所属	胃外科
⑦ 使用する検体・データ	診療録より後ろ向きに収集			
⑧ 他機関への提供	無			
⑨ 提供先の責任者	氏名		所属	
⑩ 目的	欧米では切除可能進行胃がんに対して術前術後の化学療法が標準ですが、本邦ではpStagell, IIIに対する術後補助化学療法(Adj)が標準治療です。これまでにより進行した高度リンパ節転移と大型3型/4型に対するNACの有用性が検討されてきましたがNACの有用性は確立していません。またNACが施行された患者のAdjの有用性は不明です。この研究の目的は、進行胃がんに対してNAC後に根治切除を達成した患者さんに対するAdjの有用性を評価することです。			
⑪ 方法	初発胃がんに対してNAC後に胃がんの手術を受けた患者さんにおいて、Adj完遂群とAdj未施行/中止群に分類し、患者さんの背景因子や生存転帰について2群を比較します。			
⑫ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年9月19日		
⑬ 公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑭ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑮ 知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。			
⑯ 利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑰ 資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑱ お問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。